# 施策の評価シート（令和５年度分）

## 1　計画における位置付け

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 政策体系 | 総合計画 | 目標 | 05 | 自分らしく心豊かに輝けるまちづくり | | |
| | | 基本政策 | 12 | つながり広がるコミュニティの醸成 | 管理コード | 051236 |
| | | 施策 | 36 | 地域コミュニティの活性化 | 本冊ページ | 87 |
| | 関連個別計画 | | | | | |
| 担当部局 | | | 市民部 | | | |
| 施策の内容（番号） | | | 113 | ～ | 115 | |

## 2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

| 番号 | 施策の内容 | 「施策の内容」の総合評価 選択区分 | 今後の方向性 選択区分 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|
| 113 | 地域における人と人とのつながりの醸成を図るための支援とともに、自治会などの地域コミュニティへの参加促進や地域のリーダー育成に向けた、地域コミュニティの活動や役割、必要性への理解を深めるための取組を進めます。 | A | ④ | 地域連携課 |
| 114 | 地域の実情や特性を踏まえ、地域づくり体制の構築に向けた支援を行います。 | B | ④ | 地域振興課（美里、一志、久居） |
| 115 | 地域住民が安心して地域活動が行える環境を整えるため、活動支援や集会所、コミュニティ施設などの地域活動拠点の形成を進めます。 | A | ① | 地域連携課/市民交流課 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

## 3　「施策」の総合評価

| | 区分 | 選択区分 | 総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載） |
|---|---|---|---|
| 「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価 | A　80点以上<br>B　60点以上80点未満<br>C　40点以上60点未満<br>D　20点以上40点未満<br>E　20点未満 | A | 先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体等への活動支援や新たな活動団体の設立時における支援を行ったほか、美里地域における旧小学校施設の活用や、一志地域における旧小学校施設等の活用については、活動を行う団体により令和5年度は概ね計画どおり各種イベントや教室、地域の運動会、文化祭、防災訓練等が開催されました。また、地域活動拠点の形成に関して自治会が実施する集会所建築・修繕について事前届の提出のあった全ての自治会に補助金を交付したほか、（仮称）安東コミュニティ施設の整備を計画通り進めるなどにより、地域コミュニティの活性化が進みました。 |

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

## 計画期間における達成状況

| 年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | A | B | B | B | A | A | | | | |

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

## 1　計画における位置付け

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 政策体系 | 総合計画 | 目標 | 05 | 自分らしく心豊かに輝けるまちづくり | | |
| | | 基本政策 | 12 | つながり広がるコミュニティの醸成 | 管理コード | 051236113 |
| | | 施策 | 36 | 地域コミュニティの活性化 | 本冊ページ | 87 |
| | 関連個別計画 | | | | | |
| 担当部局 | | | 市民部 | | | |
| 施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果 | | | 113 | 地域における人と人とのつながりの醸成を図るための支援とともに、自治会などの地域コミュニティへの参加促進や地域のリーダー育成に向けた、地域コミュニティの活動や役割、必要性への理解を深めるための取組を進めます。 | | |

## 2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 事業の内容 | 事業の目的 | | 事業の評価 | | 事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 効 | 事業の実施により直接的に表れる効果 | ◆ 当初の事業実施計画 | 実施評価 | |
| | | | | 誰 | 誰のための事業か | ◇ 事業評価の主な視点 | 事業評価 | |
| | | | | 何 | 何のための事業か | 決算額（千円） | 今後の方向性 | |
| 113-1 | 市民活動推進事業 | 地域連携課 | 協働のまちづくりの推進のため、先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体等への活動支援 | 効 | 市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の実施事業への支援を行う | ◆ 市民活動事業の増加 | ◎ | 市民活動団体等への公益的な活動の初期支援を行い、自立した活動へのサポートを行った。<br>申請数の減少に伴い、令和6年度より事業内容の見直しを行う。 |
| | | | | 誰 | 津市の地域課題を解決するための事業を実施する市民活動団体 | ◇ 事業の申請件数 | ○ | |
| | | | | 何 | 市民活動団体による地域課題の解決の支援を行うことで、より住みよいまちづくりの推進を行う | 300（千円） | 見直し | |
| 113-2 | 市民活動団体設立支援事業 | 地域連携課 | 協働のまちづくりの推進のため、新たな活動団体の設立時における支援 | 効 | 市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の設立や運営の支援を行う | ◆ 市民活動団体の増加 | ◎ | 市民活動団体等への公益的な活動支援及び地域課題を解決するための事業に対する自立した活動へのサポートを行った。<br>申請数の減少に伴い、令和6年度より事業内容の見直しを行う。 |
| | | | | 誰 | 設立後1年に満たない市民活動団体 | ◇ 事業の申請件数 | ○ | |
| | | | | 何 | 市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境を作る | 100（千円） | 見直し | |
| 113-3 | | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | | 何 | | （千円） | | |
| 113-4 | | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | | 何 | | （千円） | | |

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 113-5 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 113-6 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 113-7 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 113-8 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

## 3 「施策の内容」の総合評価

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価 | A 80点以上<br>B 60点以上80点未満<br>C 40点以上60点未満<br>D 20点以上40点未満<br>E 20点未満 | A |

## 4 今後の方向性

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 今後の施策の内容の方向性 | ① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持<br>② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある<br>③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい<br>④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要 | ④ |

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

## 計画期間における達成状況

| 年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | A | D | D | C | A | A | | | | |
| 今後の方向性 | ① | ③ | ④ | ④ | ④ | ④ | | | | |

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

## 1　計画における位置付け

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 政策体系 | 総合計画 | 目標 | 05 | 自分らしく心豊かに輝けるまちづくり | | |
| | | 基本政策 | 12 | つながり広がるコミュニティの醸成 | 管理コード | 051236114 |
| | | 施策 | 36 | 地域コミュニティの活性化 | 本冊ページ | 87 |
| | 関連個別計画 | | | | | |
| 担当部局 | | | 市民部 | | | |
| 施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果 | | | 114 | 地域の実情や特性を踏まえ、地域づくり体制の構築に向けた支援を行います。 | | |

## 2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

| 番号 | 事業名 | 事業の内容 | 事業の目的 | | 事業の評価 | | 事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 効：事業の実施により直接的に表れる効果 | | ◆ 当初の事業実施計画 | 実施評価 | |
| | | | 誰：誰のための事業か | | ◇ 事業評価の主な視点 | 事業評価 | |
| | 担当課 | | 何：何のための事業か | | 決算額（千円） | 今後の方向性 | |
| 114-1 | 地域かがやきプログラム事業 | 美里地内の旧小学校施設の利活用を推進する団体に対する負担 | 効 | 旧小学校施設の利活用により、地域の活性化、地域活動の拠点づくりとなる。 | ◆ 各種イベント、教室、会議等の開催 | ○ | 令和5年度において、地域住民の活動等に旧小学校の活用が図られた。<br>法律上の課題が判明したため、対策を検討していく。地域住民の活動は、使用可能な施設に移転して継続していく。<br>事業の見直しについては、検討中。 |
| | | | 誰 | 地域住民等 | ◇ イベント開催件数 | ○ | |
| | 地域振興課（美里） | | 何 | 地域住民等が主体的に事業に取り組み、賑わい、相互交流などにより地域振興、地域づくりが図られる。 | 1,200（千円） | 見直し | |
| 114-2 | 公有財産管理事業 | 地域活性化、文化振興、スポーツ振興活動を行う団体に活動拠点を提供する（旧波瀬小学校、旧大井小学校、旧大井幼稚園） | 効 | 活動拠点を提供することにより、地域活性化や文化振興などの目的を達成できる | ◆ 5団体に使用許可 | ○ | 天候等により中止となった行事もあったが、各団体が主体となり地域の運動会・文化祭・防災訓練が実施された。<br>各団体が活動拠点を置き、地域のイベント等に参加することにより、住民との交流が深まり、賑わいを創出しているが、各団体への活動拠点の提供に関して法的な課題が判明したため、対策を講じる必要がある。<br>今後も活動が継続できるよう、移転先等を検討していく。 |
| | | | 誰 | 波瀬まちづくり協議会、大井町づくり委員会、津レスリング協会、手織りグループしおり、和太鼓集団鼓司 | ◇ 地域行事等の開催件数 | ○ | |
| | 地域振興課（一志） | | 何 | 地域の各分野で活動する団体が、地域と協力しながら、地域の活性化のために活動できる | 0（千円） | 見直し | |
| 114-3 | 公有財産管理事業 | 学校法人に活動拠点を提供する（旧大井小学校） | 効 | 高齢化が進む地域住民と学生が交流することにより、地域を活気づかせる | ◆ 地域のイベントに参加 | ○ | 一志学園高校の生徒が、町づくり団体や公民館と共に地域の防災訓練・文化祭に参加した。<br>一志学園の生徒と交流することにより、地域住民の活動意欲を向上させる効果がある。<br>今後も引き続き相互交流を深め、地域の活性化を図る。 |
| | | | 誰 | 学校法人玉村学園（一志学園高等学校） | ◇ 地域行事等への参加回数 | ○ | |
| | 地域振興課（一志） | | 何 | 地域内に学校ができることで、地域と協力しながら、地域の活性化のための活動を行うことができる | 0（千円） | 現状維持 | |

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 114-4 | 地域かがやきプログラム事業 | 榊原地域の新たな魅力創出事業を実施する榊原の地域振興を考える会に対する補助 | 効 | 地域資源を活かした地域振興 | ◆ 地域の魅力を創出する活動への支援 | ○ | 地域かがやきプログラム事業の見直しに伴い、これまでの取組を評価し、その結果を踏まえ、新たに取り組む事業を令和6年度より地域活性化事業として実施する。<br>※令和6年度から実施済み<br>R5年度事業の実施状況<br>会議　15回<br>イベント　6回 |
| | | | 誰 | 榊原地域住民等 | ◇ 事業の実施状況 | ○ | |
| | 地域振興課（久居） | | 何 | 地域全体で事業を実施し、地域の魅力を増やすことにより地域振興が図られる | 1,200（千円） | 見直し | |
| 114-5 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 114-6 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 114-7 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上）　○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満）　△=計画を下回った（50%以上～80%未満）　×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる　○=ある程度の効果が認められる　△=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない　×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

## 3 「施策の内容」の総合評価

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価 | A　80点以上<br>B　60点以上80点未満<br>C　40点以上60点未満<br>D　20点以上40点未満<br>E　20点未満 | B |

## 4 今後の方向性

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 今後の施策の内容の方向性 | ①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持<br>②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある<br>③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい<br>④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要 | ④ |

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

## 計画期間における達成状況

| 年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | B | B | B | B | A | B | | | | |
| 今後の方向性 | ① | ① | ① | ① | ① | ④ | | | | |

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

## 1　計画における位置付け

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 政策体系 | 総合計画 | 目標 | 05 | 自分らしく心豊かに輝けるまちづくり | | |
| | | 基本政策 | 12 | つながり広がるコミュニティの醸成 | 管理コード | 051236115 |
| | | 施策 | 36 | 地域コミュニティの活性化 | 本冊ページ | 87 |
| | 関連個別計画 | | | | | |
| 担当部局 | | | 市民部 | | | |
| 施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果 | | | 115 | 地域住民が安心して地域活動が行える環境を整えるため、活動支援や集会所、コミュニティ施設などの地域活動拠点の形成を進めます。 | | |

## 2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 事業の内容 | 事業の目的 | | 事業の評価 | | | 事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 効 | 事業の実施により直接的に表れる効果 | ◆ 当初の事業実施計画 | | 実施評価 | |
| | | | | 誰 | 誰のための事業か | ◇ 事業評価の主な視点 | | 事業評価 | |
| | | | | 何 | 何のための事業か | 決算額（千円） | | 今後の方向性 | |
| 115-1 | 集会所建築等補助事業 | 地域連携課 | 自治会が実施する集会所建築・修繕に対する補助 | 効 | 自治会が集会所を新築、増築、改装、修繕、又は取得する | ◆ 自治会の補助申請に基づき適宜実施（新築、取得、修繕17件） | | ◎ | 事前届の提出のあった全ての自治会に対し、補助金の交付ができた。自治会が行う集会所の建築等に対して支援を行うことは、地域におけるコミュニティ活動の推進に寄与できるため、今後も継続していく。 |
| | | | | 誰 | 住民の地域活動の拠点として本市の区域内に存する自治会 | ◇ 補助金交付件数 | | ◎ | |
| | | | | 何 | 住民相互の連携意識の高揚を図り、健全な地域社会の形成に寄与する | 9,540（千円） | | 現状維持 | |
| 115-2 | 会館整備事業 | 市民交流課 | （仮称）安東コミュニティ施設の整備 | 効 | 地域コミュニティ促進のための集会施設を整備する | ◆ コミュニティ施設の整備 | | ◎ | 安東地域のコミュニティ活動推進のための集会施設の整備に向けて、計画通り進めることが出来た。引き続き施設整備完了、供用開始に向けて取組を進めていきたい。 |
| | | | | 誰 | 市民 | ◇ 整備の進捗度合 | | ◎ | |
| | | | | 何 | 地域コミュニティ活動を行う場を整備する | 125,990（千円） | | 現状維持 | |
| 115-3 | | | | 効 | | ◆ | | | |
| | | | | 誰 | | ◇ | | | |
| | | | | 何 | | （千円） | | | |
| 115-4 | | | | 効 | | ◆ | | | |
| | | | | 誰 | | ◇ | | | |
| | | | | 何 | | （千円） | | | |

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 115-5 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 115-6 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 115-7 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 115-8 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

## 3 「施策の内容」の総合評価

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価 | A 80点以上<br>B 60点以上80点未満<br>C 40点以上60点未満<br>D 20点以上40点未満<br>E 20点未満 | A |

## 4 今後の方向性

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 今後の施策の内容の方向性 | ① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持<br>② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある<br>③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい<br>④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要 | ① |

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

## 計画期間における達成状況

| 年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | A | A | A | A | A | A | | | | |
| 今後の方向性 | ① | ① | ① | ① | ① | ① | | | | |

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.